

第31回「議員と語りかい」報告書

総務環境常任委員会 (No.1)

開催日	令和元年 8月 6日(火) 午後1時30分 ~ 3時		
開催場所	議会棟4階 第3・4委員会室		
団体名	霧島市文化協会	参加人員	7人 (男 5人:女 2人)
出席議員	松元 深、宮内 博、山田 龍治、久保 史睦、川窪 幸治、 阿多 己清、前島 広紀、新橋 実		
役割分担	班 長 (松元 深) 副班長 (宮内 博) 記録係 (川窪 幸治)		
テーマ及び具 体的な内容	地域の文化芸術を継承し発展させるための将来の展望や課題等について		

意見 交換 での 主な 意見 等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	<p>◆議員にいろいろ相談したいが、なかなか顔がみえない。総務環境常任委員会の皆さんとこのような機会ができたことに期待をする。今後、文化振興議員連盟の立上げはできないか。</p> <p>◇議員連盟も観光・スポーツ・防衛とあるが、同じ議員が複数所属しており、その他に森林関係の話もあり今回の文化振興まで立ちあげるには少し無理がある。今後、協議の機会があればあげていく。</p> <p>◇2001年に文化芸術振興基本法が公布され、2017年には文化芸術基本法に変わった。子どもたちの教育の部分について、小さい時から音楽や絵画・多くの文化にふれることは大切と思う。地方自治体では、推進基本計画については、努力義務にしかかかっていないのが課題である。活力ある町づくり、地域の発展は文化向上をなくして、人の心の豊かさはついていかないのかなと思う。</p>

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆文化協会、7支部で困っていることがある。少子高齢化に伴う会員数の減少、171万円の補助金を支部で分配して秋の文化祭の予算にあてている。支部の会費をもらっているが会員数が減り運営することに困っている。協会で催しをやって収入を得て足りない部分を増やさないと成り立っていかない。霧島市の文化を支えている展示(パッチワーク・彫刻・絵)も減っている。議員連盟を立ち上げて、地区の文化を高めてほしい。

◇生涯学習で公民館講座等がある。その後自主クラブに移行し、活動されていると思うが、その方々にも呼びかけ、勧誘すればいいのではないかと思う。

◆文化祭で展示物を盗まれる事例があり監視カメラを設置してほしいとスポーツ文化振興課にお願いしている。

◇議会の中でも監視カメラの話がでたが解決はしていない。

意見交換での主な意見等

◆加入団体と会員減少の解消策について議員の方々の意見を聞きたい。公民館講座とリンクしたり、議会の方から主催者側に連絡をしていただくと説得しやすい。公民館講座の講師の方々も80歳をめぐりに新しい方に引き継ぎをするように行政の方から話はあったが、全体をみるとバトンタッチができていないのが現状である。福山地区の中央公民館の会場もトイレは和式しかなく、高齢者や足の不自由な方は2階に上れないため、参加できない。地域の歌や踊りを若い人や生徒さんに継承していける環境づくりをしてほしい。

◇陵南地区では、棒おどりを披露して文化の広がりを図っている。青葉小校区では、たくさんの方々の伝統芸能があるがPTA役員の協力を得て活動を広げている。竹子でも、猿の子踊りで地域文化を広げている。施設の問題は難しいが、しっかりと聞き入れたい。さらに文化協会からも要望をだすことが必要かと思う。